

科目名	情報英語	単位数	4単位	学期	前期
担当教員	阿部 聡		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-B-2-470002	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	<p>海外夏期セミナーにおける授業科目の1つである。英語によって自分の考えや主張を相手に伝え、コミュニケーションができるようになるための技術を身につける授業を行う。また、海外夏期セミナーにおいて開講されるIT/e-Portfolio演習を理解するための情報技術関連の英語力修得を目指す。アルバータ大学エクステンション学部におけるESL (English as a second language 第二言語としての英語) 教育クラスの運営ノウハウを生かした授業構成となっている。また、多民族・多文化国家であるカナダにおいてグローバルな視点を涵養することも授業の目的である。</p> <p>なお、現地へ出発前（前期）に現地事情の概要および渡航関連項目の事前学習・研修を下記のように15回に渡って行う（「北米社会と情報」と共通。事前学習・研修の中でも実際に英語を用いたり、英語でのプレゼンテーションの準備を行ったりする）。</p>				
学修到達目標	<p>履修後にTOEIC L&R の点数を渡航前より100点以上アップする。 多民族社会・多文化社会における多様な英語に触れ、英語という言語そのものに対する視野を広げること。</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	オリエンテーション：カナダ夏期セミナー概要説明（日程・費用など）
第2回	渡航準備：旅行会社航空券の予約開始、パスポート取得方法説明、eTA取得用クレジットカード作成の説明
第3回	渡航前書類の説明：学内書類（誓約書、奨学金交付願、保護者宛文書）の説明、配布

第4回	グループワーク：カナダ渡航の目的
第5回	グループワーク：カナダ・アルバータ州の歴史と地理（調査）
第6回	グループワーク：カナダ・アルバータ州の歴史と地理（発表） グループワーク：新潟の文化・地理・歴史についての英語によるプレゼンテーションの準備
第7回	グループワーク：カナダ・アルバータ州の歴史と地理（講義） グループワーク：新潟の文化・地理・歴史についての英語によるプレゼンテーションの準備
第8回	渡航準備：ホームステイ申込書作成 グループワーク：新潟の文化・地理・歴史についての英語によるプレゼンテーションの準備
第9回	グループワーク：新潟の文化・地理・歴史についての英語によるプレゼンテーションの準備
第10回	渡航準備：フライト・入国の方法（税関・検疫申告書記入の練習など） eTA申請の確認
第11回	渡航準備：フライト関係説明、成田までの移動手段確認
第12回	渡航準備：海外（留学）旅行保険学内説明会、役割決定、研修日程表作成（報告書）
第13回	渡航準備：成田までの交通方法決定・発表

第14回	渡航準備：英語クラス発表、各種報告書の記入方法説明、行事確認
第15回	渡航準備：渡航当日スケジュール最終確認
第16回	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間：（実際には現地の各クラスにおいて指示される）
【復習】時間・内容	1時間：（実際には現地の各クラスにおいて指示される）

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習の成績：出席点80%、レポート（研修日程表）20%で評価する ・留学時成績：レポート70%、最終テスト（アルバータ大学によるもの）30%で評価する
フィードバック方法	留学時の成績に関して引率教員の講評を行う。レポートについては講評を付して返却する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	短編小説、新聞、パンフレット、ウェブ記事などを含む多くのテキストを使用する。また、音声・映像教材も使用する。
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習では現地事情および渡航に関する学習を行う。いずれも必須項目であるので、必ず出席すること。欠席の場合は補講を実施する。なお、このシラバスの各回については、現地での英語授業の内容を記すことが不可能なため、「北米社会と情報」とほぼ同一にしてある。 ・留学先（アルバータ大学）の英語教育プログラムは4.5時間の授業が週5日・およそ4週間にわたり実施されるため1日でも欠席すると追いつくのが大変なので欠席しないこと。 ・英語文化圏におけるコミュニケーション技術向上に焦点をあてた授業であるため、普段から日本語でもコミュニケーション力をつけておくことが望ましい。 ・上記の時間以外でもホームステイなどを通して英語によるコミュニケーションのトレーニングが求められることを理解しておくこと。 <p>また、下記のこと実施するので認識しておくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレースメントテスト（留学前）：レベル別英語授業のための英語能力の確認 ・カンパセーション・クラブ：アルバータ大学学生との英会話練習 ・様々な場面における言語技術向上のためのトレーニング：ディスカッション、プレゼンテーション、実務処理の実行・対応、感情表現等の学習 ・ホームステイ：3週間のホームステイによる日常生活の中での英語体験とコミュニケーション技術の向上 ・出発までに1回はTOEICを受験しておくことを強く勧める。
JABEE	